



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう

# STATION Ai

2024年5月8日（水）

愛知県経済産業局革新事業創造部

スタートアップ推進課

創出・成長支援グループ

担当 古井、河合

内線 3676、3464

ダイヤルイン 052-954-6859

## 国内スタートアップ支援プログラムの成果及び今年度事業について

愛知県は、2018年10月に「アイチ スタートアップAichi-Startup戦略」を策定し、この戦略に基づき、スタートアップ・エコシステムの形成・充実に努めています。

2023年度は、この取組の一環として、スタートアップの創出・育成・展開・誘致を図ることを目的とし、スタートアップの中核支援拠点として今年10月に開業する「STATION Ai」に先駆けて設置した「PRE-STATION Ai」を始め、5つのプログラムを実施してまいりました。

始めに、2024年10月のオープンに向け準備を進めている「STATION Ai」（名古屋市昭和区）に先駆け、2020年1月から「PRE-STATION Ai」（名古屋市中村区）を設置し、スタートアップに対して幅広い支援を実施しております。短期集中型の事業成長プログラムステーション エーアイ セントラル ジャパンの実施、スタートアップへの投資ファンドである「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」によるスタートアップへの投資、人材採用支援等により、支援体制の強化を図っています。

また、2021年度から、「アイチ スタートアップ ブリッジAichi Startup Bridge」事業として首都圏を中心とするベンチャーキャピタル（VC）と愛知県とのネットワークを構築するために、「アイチ パートナー ブイシーAichi Partner VC」を認定し、PRE-STATION Ai メンバーのスタートアップ等に対して資金調達機会を提供しています。

さらに、愛知県内各地域において、それぞれの地域特性や強みを生かして主体的にスタートアップを起爆剤としたイノベーションの創出に取り組む機関等を「STATION Ai パートナー拠点」と位置付け、「STATION Ai」、「PRE-STATION Ai」との相互の連携・協力関係の構築を進め県内全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を促進しています。

加えて、スタートアップ支援に造詣の深いコーディネーターが、全国のスタートアップと愛知県企業のマッチングによりオープンイノベーションを促進する「あいちマッチング」を2019年度から実施しています。

最後に、「ディープテック推進事業」として、大学・研究機関等の独創的かつ複製困難な最先端の科学技術に基づくスタートアップによる破壊的イノベーションを期待できる事業に対して、社会実装することによる既存市場の転換、新規市場創出を唯一の目的に複数年度にわたる支援を行っています。

この度、以上の国内スタートアップ支援プログラムの成果及び今年度事業について、別添のとおりお知らせします。

(参考)国内事業の一覧について

	事業名	ステージ (※)	目的
国内スタートアップ支援事業	1 PRE-STATION Ai	Seed Expansion	PRE-STATION Ai に対し下記の支援等を実施 ・統括マネージャー、コミュニティマネージャーの配置し、相談・支援等の総合支援 ・短期集中型の事業成長プログラム。 ・「STATION Ai Centra Japan 1号ファンド」によるスタートアップへの投資 ・人材採用支援
	2 AICHI STARTUP BRIDGE	Seed Early	VC とのネットワーク、当地域へのコミュニティへの参加を通じ、スタートアップと VC が出会いやすい環境づくり
	3 STATION Ai パートナー拠点	Seed Early	愛知県内各地域において、主体的にスタートアップ支援に取り組む機関等を「STATION Ai パートナー拠点」と位置づけ、「STATION Ai」との相互の連携・協力関係の構築を進めていくことによる、県内全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成の促進
	4 あいちマッチング事業	Early Expansion	全国のスタートアップと愛知県企業とのオープンイノベーションの促進による経営革新、付加価値創造
	5 ディープテック推進事業	Seed Early	破壊的イノベーションを創出し、社会課題を解決する可能性が高いディープテック系スタートアップの技術の社会実装支援及び有望なディープテック系スタートアップが連続的に創出されるエコシステムの形成
国内アントレプレナーシップ支援事業	6 あいちスタートアップキャンプ (2024年度廃止)	Seed	「革新的ビジネスアイデア」で起業しようとする者や起業間もない者を発掘・育成することによる、シードステージの形成の推進
	7 ビジネスプランコンテスト (2024年度廃止)	Seed	スタートアップの創出に繋げるビジネスプランコンテストの開催
	8 あいちスタートアップスクール	—	小中高生を対象に、模擬会社設立ワークショップなど、各世代に応じた起業家育成プログラムの実施
	9 スタートアップコンテスト	Seed	起業確度が高い者を対象に、起業の知見・資金両面をサポートする、ビジネスコンテスト及び創業初期のスタートアップを対象とするピッチコンテストの開催
	10 学生・社会人向けプログラム	Seed	学生や起業確度の高い社会人等の個別ステージに応じた起業支援を行うことによる起業家創出の機運醸成

※ 今回、1～5の事業を PRE-STATION Ai の成果として報告。

※<sub>シート</sub>スタートアップの成長ステージについて

【Seed】…創業期。コンセプトやビジネスモデルは存在するが、具体的な製品やサービス自体は未完成の状態。

【Early】…事業化初期。製品やサービスを実際に開発し、リリースを始めた状態。

【Expansion】…成長期。製品やサービスの販売が軌道に乗り、黒字化が見えてきた状態。

## 国内スタートアップ支援プログラムの成果及び今年度事業について

### 1 PRE-STATION Ai

#### (1) これまでの経緯

愛知県は、スタートアップの総合支援を行うことを目的として、2020年1月にスタートアップ支援拠点「STATION Ai 早期支援拠点」を開設しました。その後、スタートアップ支援に関する専門的な知見を持つ「統括マネージャー」を配置し、スタートアップの起業や事業会社との協業に向けた支援、相談体制の強化を図ってきました。

2021年度は、2024年10月開設予定の「STATION Ai」の主要機能を概ね備えるために早期支援拠点に新たな機能を充実し、4月1日から新たに「PRE-STATION Ai」として開設しました。「PRE-STATION Ai」では、入居スタートアップに対する定期的なメンタリング支援のほか、短期間で急成長を支援するインキュベーションプログラムの実施や、起業成功者や士業等の専門家を招いた勉強会を開催し、スタートアップを総合的に支援してきました。

2022年度からは、「STATION Ai」の整備・運営を担う STATION Ai 株式会社が、「PRE-STATION Ai」の運営を開始するとともに、施設規模の大幅な拡張、STATION Ai がモデルとするフランスの STATION F の知見を取り入れたプログラム等の実施、スタートアップの資金調達支援等を行うための「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」の設立や、オンライン支援を行う枠として新たに「Remote メンバー」制度を導入するなど、2024年度の「STATION Ai」のオープンに向けて本格的に始動しました。

2023年度は、新たにスタートアップの人材採用を支援するため、人材プールの構築やスタートアップ採用特化の人材マッチングイベントを開催するなど、スタートアップの抱える成長課題の解決に資する事業を総合的に展開しています。

#### (2) 2023年度事業概要

「STATION Ai」開業に先駆けて、We Work グローバルゲート名古屋内に設置した「PRE-STATION Ai」において、「STATION Ai」の整備・運営を担う STATION Ai 株式会社が、「STATION Ai」のモデルであるフランスの「STATION F」から得た知見を踏まえたプログラム等を実施しています。

##### ①【相談・支援業務の実施】

スタートアップ（企業内の新規事業等も含む）、行政・支援機関、企業等の相談を実施。スタートアップの相談には、起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務相談、知的財産施策等を含む。

## ② 【短期集中型プログラムの実施】

創業直後からシードステージのスタートアップが、プログラム期間中に資金調達に臨める状態に事業成長することを目指すプログラムで、スタートアップの成長ステージに合わせて、「インキュベーショントラック<sup>※1</sup>」及び「アクセラレーショントラック<sup>※2</sup>」の2つのプログラムを実施し、定期メンタリングや勉強会の開催、ピッチ機会を提供。また、将来的にパートナーとなりうる事業会社や投資家を観客として招き、スタートアップがピッチをするデモデイを開催。

※1 参加するスタートアップが、初期の顧客セグメントで実績を創出し、シードステージ以降の資金調達に臨めることを目的としたプログラム。

※2 参加するスタートアップが、KPI の設計と改善サイクルの実行により、プレ・シリーズ A～シリーズ A 相当の資金調達に臨める状態なることを目的としたプログラム。

## ③ 【ギルドの運営や勉強会、ピッチイベントの開催によるコミュニティの構築】

メンバー同士が支援し合うコミュニティ「ギルド」の運営や、起業成功者等を講師とした勉強会や外部の事業会社等を招待したスタートアップのピッチイベントを開催し、PRE-STATION Ai メンバー内外のコミュニティを構築。

## ④ 【STATION Ai Central Japan 1号ファンドによるスタートアップへの投資実行】

STATION Ai 株式会社を GP<sup>※3</sup> とし、ソフトバンク、愛知県、名古屋市、地域の金融機関や事業会社等が LP<sup>※4</sup> として出資する STATION Ai Central Japan 1号ファンド(2022年組成)により、PRE-STATION Ai メンバーに対する投資を通じて、スタートアップの資金調達を支援。

※3 GP (General Partner 無限責任組合員) : ファンドの運営者

※4 LP (Limited Partner 有限責任組合員) : 投資資金の出し手

## ⑤ 【スタートアップの人材採用支援の実施】

スタートアップで働きたい社会人や学生・フリーランスの人材プールの構築や、大企業人材に対するスタートアップへの研修出向の斡旋、スタートアップ採用特化の人材マッチングイベントの開催を通じて、スタートアップの人材採用を支援。



PRE-STATION 1周年イベント  
セレモニー (2023年5月24日)



STATION Ai 短期集中プログラム  
デモデイの様子 (2024年3月12日)

### (3) 事業の成果

時 期	内 容
2023 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「統括マネージャー」、「コミュニティマネージャー」を増員（事業受託：STATION Ai 株式会社）</li> <li>・「STATION Ai Central Japan 1号ファンド」にてスタートアップへの投資を複数実施(投資実績については非公表)</li> </ul> <p>【メンバー数（2024年4月）】411社            (Standardメンバー：134社、Remoteメンバー277社)</p> <p>※2023年3月時点より189社増加</p> <p>【相談業務の実施】98件</p> <p>【短期集中型プログラムの実施】</p> <p>(前期)</p> <p>インキュベーショントラック：11社            アクセラレーショントラック：12社</p> <p>(後期)</p> <p>インキュベーショントラック：9社            アクセラレーショントラック：8社</p> <p>【資金調達件数】44件</p> <p>【人材プールの登録人数】58名</p> <p>【大企業人材に対するスタートアップへの研修出向】11件</p> <p>【人材採用実績】2件</p>

### (4) 具体的な成果事例

1	即時尿検査サービスを展開する株式会社ユーリア（名古屋市西区）が、ソフトバンク株式会社（東京都港区）と、栄養状態の改善や健康状態の解決などを可視化するサービスの構築に向けて、業務提携契約を締結。
2	AIとロボットで有機農業を推進する株式会社トクイテン（名古屋市中村区）が、ユナイテッド株式会社、STATION Ai Central Japan 1号ファンド等を引受先とする第三者割当増資及び、日本政策金融公庫の融資により3.7億円を資金調達。
3	インドで建設・製造における特定技能外国人の育成から日本での生活支援まで一貫通貫の人材供給体制を目指すアイティップス株式会社（名古屋市中村区）が、創業120年の老舗屋根工事店の株式会社坪井利三郎商店（名古屋市中区）と、特定技能インド人材の育成スポンサー契約及びマッチング契約を締結。
4	名古屋市内で開催したスタートアップ採用特化の人材マッチングイベントにおいて、産業用ドローンの開発・製造を行う株式会社プロドローン（名古屋市中村区）が、エンジニアを1名採用。

## (5) 2024 年度事業について

統括マネージャー及びコミュニティマネージャーによる相談・支援業務、スタートアップに特化した採用支援、資金調達に臨める状態に事業成長することを目指す短期集中型プログラム「STATION Ai Catapult」、STATION Ai Central Japan 1号ファンドからの投資実行を通じて、2024年10月のSTATION Ai 開業に向けたスタートアップ支援体制をより一層ブラッシュアップしていきます。

### ①【相談・支援業務】

内 容	対象者	実施頻度	実施期間
各種相談(起業準備、資金調達、マーケティング、販路開拓、ファイナンス、法務相談、知的財産施策等)	スタートアップ、行政・支援機関、企業等	随 時	通 年

### ②【STATION F の知見を取り入れたプログラム等の実施】

内 容	対象者	実施頻度	実施期間
ファウンダーズプログラム (メンバー支援のための基本プログラムとして、定例メンタリング等を実施)	PRE-STATION Ai メンバー	随 時	通 年
ギルド (メンバー同士が支援し合うコミュニティの運営)	PRE-STATION Ai メンバー	随 時	通 年

### ③【短期集中型のスタートアップ支援プログラム【STATION Ai Catapult】(前期)】

内 容	対象者	募集時期	実施期間
① メンタリング ② 勉強会 ③ デモデイ	Incubation Track ※ <sup>1</sup> : 12 社 Acceleration Track ※ <sup>2</sup> : 12 社	4月に参加スタートアップを募集(2024年4月8日記者発表済み)、9月にDemo Dayを公開実施予定。	6月～9月

※1 参加するスタートアップが、初期の顧客セグメントで実績を創出し、シードステージ以降の資金調達に臨めることを目的としたプログラム。

※2 参加するスタートアップが、KPIの設計と改善サイクルの実行により、プレ・シリーズA～シリーズA相当の資金調達に臨める状態なることを目的としたプログラム。

### ④【スタートアップ人材の採用支援の実施】

内 容	対象者	募集時期	実施期間
・人材プールの管理・運営 ・採用戦略の構築支援 ・大企業人材に対するスタートアップへの研修出向の斡旋	スタートアップ、スタートアップで働きたい者、大企業人材	随 時	通 年



内 容	対象者	募集時期	実施期間
スタートアップ採用特化の人材マッチングイベントの開催	スタートアップ、スタートアップで働きたい者	12月～1月頃	2月～3月頃

## 2 AICHI STARTUP BRIDGE

### (1) これまでの経緯

愛知県では、本県と首都圏を中心とする VC とのネットワークを構築し、スタートアップに対して資金調達機会を提供するとともに、スタートアップの資金調達に関する知識の向上等を図るプログラムである「AICHI STARTUP BRIDGE」事業を 2021 年度から実施しています。

VC と本県のネットワーク構築のため「Aichi Partner VC」を 15 社認定し、当地域のスタートアップの資金調達機会の創出を目的として、「Aichi Partner VC」とスタートアップをミートアップするイベントを実施しています。また、スタートアップの資金調達に関する理解度の向上に向けた勉強会や、事業会社のスタートアップ投資の機運醸成に向けた勉強会を開催し、当地域のスタートアップの資金調達の円滑化を支援しています。



Aichi Partner VC とスタートアップのミートアップイベントの様子 (2024 年 3 月 29 日)

### (2) 2023 年度事業概要

#### ①【Aichi Partner VC とスタートアップのミートアップイベントの実施】

Aichi Partner VC と当地域のスタートアップが個別に面談する機会を定期的に設け、当地域のスタートアップの資金調達機会を創出するミートアップイベントを、年 4 回実施。

#### ②【スタートアップ向け勉強会の開催】

スタートアップの資金調達の理解度を向上させるため、スタートアップ向けの資金調達に関する勉強会を開催。

#### ③【事業会社向け勉強会の開催】

事業会社のスタートアップ投資の機運を醸成するため、生成 AI の基礎知識から技術トレンドと市場の概要、ビジネスへの応用と海外スタートアップの動向について勉強会を開催。

### (3) 事業の成果

3年間にわたる事業により、以下のような成果が創出されました。

内容	2021年度	2022年度	2023年度	合計
Aichi Partner VCとスタートアップのミートアップイベントの実施（参加者数）	24社	25社	21社	70社
スタートアップ向け勉強会の開催	55名	25名	16名	96名
事業会社向け勉強会の開催	15名	9名	19名	43名

### (4) 具体的な成果事例

1	光を利用した治療技術の実用化に向け、革新的な光治療用医療機器の研究開発を行うイルミメディカル株式会社（名古屋市守山区）が、株式会社 mint（東京都渋谷区）を始めとした VC から合計 1.7 億円を資金調達。
---	---

### (5) 2024 年度事業について

前年度に引き続き、認定 VC15 社と当地域のスタートアップに対して、資金調達機会の提供等を継続して実施。

内容	対象者	募集時期	実施時期
Aichi Partner VCとスタートアップのミートアップイベントの実施	スタートアップ	5月、8月	6月、9月
スタートアップ向け勉強会の実施	スタートアップ	7月	8月

## 3 STATION Ai パートナー拠点事業

### (1) これまでの経緯

「Aichi-Startup 戦略」では、愛知県全域にわたるスタートアップ・エコシステムの形成を目指し、県内各地域に STATION Ai と連携する「STATION Ai パートナー拠点」の設立を促進することとしています。

2021 年 10 月には、東三河地域の企業、大学、行政機関等で構成する「東三河スタートアップ推進協議会」をパートナー拠点に位置付けました。更に、2023 年 9 月には、大府市・東浦町にまたがるウェルネスバレー地域の健康長寿関連機関、企業、大学、行政機関等で構成する「ウェルネスバレー推進協議会」をパートナー拠点に位置付けました。

2024 年度は、その他の地域においてもパートナー拠点の設立を促進し、各地域の特色を生かした自立的なスタートアップ・エコシステムの形成を支援します。

### (2) 2023 年度事業の概要

#### ①【エコシステム形成支援統括マネージャー設置事業】

県内各地域を支援する統括マネージャーを 3 名配置し、自治体やスタートアップ支援機関等の主体（以下「自治体等」という。）を対象に下記のプログラムを実施するとともに、



プログラム等に参加するにあたり、スタートアップ、事業会社、他地域、STATION Ai 等との調整に向けた助言等、地域の実情に応じたアドバイザー業務を実施。

また、パートナー拠点の位置付けにあたって、パートナー拠点と STATION Ai が有機的な連携を取るための助言等を実施し、県内全域でのスタートアップ・エコシステムの形成に繋がるよう、定期的に情報共有を行い、STATION Ai 及び他地域との連携に関する助言等を実施。

#### ア【スタートアップと地域のビジネス共創プログラムの実施】

自治体等を対象に、スタートアップ支援の実践機会を提供するためのプログラムとして、6 か月間の「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」を実施。

自治体等は、プログラムの中で県の統括マネージャーのサポートを受けながら、地域ネットワークを活用してスタートアップへ実証先を紹介するなどの実践経験を積み、支援ノウハウを習得。

#### イ【支援者向けワークショップの実施】

自治体等を対象に、スタートアップやスタートアップ・エコシステムの概念理解を学ぶとともに、異なる団体同士の相互理解や共創したい取組内容の言語化を目的としたワークショップを実施。

#### ウ【コミュニティ形成支援・交流会の実施】

スタートアップ、自治体、金融機関及び商工会議所等が、地域やコミュニティの垣根を越え、定期的に各主体間での情報共有・共創を促進するため、「中部イノベーションコミュニティ」を構築。

また、当該コミュニティを活用し、異なる団体同士が交流するイベントを実施し、自治体等がスタートアップ・エコシステム形成に取り組むにあたり、巻き込みが必要なプレイヤーとのネットワーク構築を支援。

### ②【東三河スタートアップ機運醸成支援事業】

東三河スタートアップ推進協議会と協働の上、東三河地域がスタートアップ・エコシステムの形成に向けて取り組んだ成果を打ち出すイベントを開催。



「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」中間デモデイの様子  
(2023年11月30日)



東三河スタートアップ推進協議会との  
共催イベントの様子  
(2024年2月22日)

### (3) 事業の成果

内 容	回 数
地域とスタートアップのビジネス共創プログラムにおける参加自治体・支援機関	24 団体
支援者向けワークショップの開催	9 回
コミュニティ形成支援・交流会の開催	10 回

### (4) 具体的な成果事例

1	2023 年 9 月に、大府市・東浦町にまたがるウェルネスバレー地域の健康長寿関連機関、企業、大学、行政機関等で構成する「ウェルネスバレー推進協議会」をパートナー拠点に位置付け。
2	地域とスタートアップのビジネス共創プログラム「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」において、複数の共創事例が創出。 例) 株式会社テックシンカー：CO2 排出量の可視化とカーボンオフセット対応が可能な SaaS を開発・展開している。大府市、大府商工会議所と連携し、市内企業にて実証実験を実施。



ウェルネスバレー推進協議会との覚書締結の様子  
(2023 年 9 月 21 日)

### (5) 2024 年度事業について

統括マネージャーを 3 名配置し、パートナー拠点の設立促進に向けて以下のプログラムを実施します。

内 容	対象者	実施期間
自治体等にスタートアップ支援の実践機会を提供し、地域でのスタートアップ・エコシステム形成促進を目的に、スタートアップと地域の自治体等とのビジネス共創プログラム「AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM」の実施	自治体、スタートアップ支援機関、商工会議所、金融機関、スタートアップ等	8 月～3 月 (予定)

内 容	対象者	実施期間
スタートアップや自治体等が定常的に接点構築できるコミュニティの運営と、コミュニティ内での勉強会及び交流会の実施	自治体、スタートアップ支援機関、商工会議所、金融機関、スタートアップ等	4月～3月
パートナー拠点がスタートアップ・エコシステムの形成に向けて取り組んだ成果を打ち出すイベントの実施	東三河スタートアップ推進協議会、ウェルネスバレー推進協議会、スタートアップ等	11月 (予定)

## 4 あいちマッチング

### (1) これまでの経緯

愛知県は、愛知県内の企業のイノベーション創出や新事業展開を図るために、スタートアップとのオープンイノベーションを促進しています。その一環として、2019年度から、スタートアップ支援に造詣の深いコーディネーターが、全国のスタートアップと愛知県企業のマッチング等を行うことで、オープンイノベーションを促進する「あいちマッチング」を実施しています。

### (2) 事業概要

#### ①【マッチングプログラム（商談会）及びアクセラレーションプログラムの実施】

マッチングプログラムを事業前半で1回実施するとともに、事業後半には、アクセラレーションプログラム\*として、マッチング後の事業共創に係る伴走支援を、愛知県企業とスタートアップの両者に対して行うことで、協業・出資等の具体的な成果に結びつけました。

※短期間で事業共創を加速することを目的に、コーディネーターによる定期メンタリング（面談）、実証実験の支援、愛知県企業の社内プレゼン実施のサポートを実施。

#### ②【ネットワーキングイベントの開催】

オープンイノベーションの機運醸成を目的として、愛知県企業に対してオープンイノベーションの事例、実施手法等を紹介し、企業間で交流を深めるネットワーキングプログラムを実施しています。



2023年度愛知県企業向け説明会の様子  
(2023年5月18日)



2023年度ネットワーキングイベントの様子  
(2024年1月25日)

### (3) 事業の成果

5年間にわたる事業により、以下のような成果が創出されました。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	計
マッチング（商談） 件数※ <sup>1</sup>	113件	145件	149件	130件	154件	691件
協業件数※ <sup>2</sup>	2件	5件※ <sup>3</sup>	12件※ <sup>4</sup>	22件※ <sup>5</sup>	21件※ <sup>6</sup>	62件
ネットワーキングイ ベント参加者数	113名	108名	90名	224名	272名	807名

※1 2019年度は延べ25社の企業、延べ88社のスタートアップ、2020年度は延べ29社の企業、延べ164社のスタートアップ、2021年度は延べ33社の企業、延べ175社のスタートアップ、2022年度は21社の企業、143社のスタートアップ、2023年度は20社の企業、109社のスタートアップがマッチングプログラム（商談会）に参加

※2 協業とは、事業会社とスタートアップによる新規事業の創出、新製品・新サービスの開発などを表す。

※3 このうち、2件は2019年度にマッチングを行い、2020年度に協業成果が表れたもの。

※4 このうち、2件は2020年度にマッチングを行い、2021年度に協業成果が表れたもの。

※5 このうち、4件は2021年度にマッチングを行い、2022年度に協業成果が表れたもの。

※6 このうち、3件は2022年度にマッチングを行い、2023年度に協業成果が表れたもの。

### (4) 具体的な成果事例

1	新日本法規出版株式会社（名古屋市中区）が、3Dモデル設計ソフトの導入に役立つサービスを提供する株式会社フローワークス（名古屋市中区）と2023年度のあいちマッチングに参加し、建築の設計業務における法的確認作業の効率化サービスのリリースに向けて協業を開始。
2	株式会社FUJI（愛知県知立市）が、工場・倉庫のスマート化を実現する株式会社インダストリー アルファ（東京都板橋区）と2023年度のあいちマッチングに参加し、小売大型店舗での商品自動搬送ロボット導入における課題解決に向けて協業を開始。

### (5) 2024年度事業について

今年度は、昨年度と同様に新規事業領域（テーマ）の設計支援からマッチングプログラムの開催、その後のアクセラレーションプログラムを実施していく中で、より個別の会社へ寄り添った支援を強化し、愛知県企業とスタートアップの事業の共創を促進します。

内容	対象者	募集期間	実施期間
マッチングプログラム（商談会）及びアクセラレーションプログラムの実施（参加県内企業募集については2024年5月7日発表済）	全国のスタートアップ・愛知県内に本社及び事業所を置く企業	企業：2024年5月7日～5月31日 スタートアップ：9月上旬～10月上旬頃	6月～2025年2月（11月中旬にマッチングプログラムを実施）
ネットワーキングイベントの開催	同上	8月、12月（予定）	9月、1月（予定）

## 5 ディープテック推進事業

### (1) これまでの経緯

産業競争力を維持・発展させるためには、イノベーションの主たる担い手である有望なスタートアップを愛知県内に連続的に創出が重要です。そこで本事業は、①破壊的イノベーションを創出、社会課題を解決する可能性が高いディープテック系スタートアップの技術の社会実装支援及び②有望なディープテック系スタートアップが連続的に創出されるエコシステムの形成に向けた取組を目的にディープテック系推進事業”<sup>あいち</sup> Aichi ディープテック ロンチパッド Deeptech Launchpad” を 2023 年度から実施しました。

### (2) 2023 年事業概要

#### ①【アクセラレーション】

愛知県の産業構造と親和性の高いディープテック系スタートアップを募集。5 社（研究開発費支給あり：2 社、支給なし：3 社）を採択し、各分野の専門家による伴走支援、競争的資金獲得等の総合的な成長サポートのほか、コミュニティ形成・情報提供等を実施。

#### <全採択スタートアップ共通>

- ・スタートアップ支援の専門家や各産業の専門家によるメンタリング・伴走支援
- ・事業会社（特に愛知県企業）とのマッチング機会の提供
- ・今後の資金調達や公的資金（特に NEDO 等の事業）の獲得に向けた支援
- ・経営戦略・コミュニケーション・資金調達等の教育プログラム
- ・デモデイにおける発表機会の提供

#### <研究開発費支給あり支援の採択スタートアップのみ>

- ・最大 4,000 万円の研究開発費の支援
- ・ディープテックスタートアップ支援の専門家による研究開発サポート

#### ②【ファンダメンタルサポート】

「経営に必要なマインドスキル」、「コミュニケーション」「人材採用・文化づくり」、「知財・法務戦略」、「資金調達」等をテーマにディープテックスタートアップ経営スキル向上に向けた公開講座を開催した。3 度のミートアップイベントを開催し、ディープテックエコシステム関係者のネットワークづくりを実施。

### (3) 事業の成果

支援の結果、採択各社の①事業成長に必要な知見の獲得による事業成長、②パートナー候補企業とのネットワーク形成、③研究開発の進捗によるプロダクト製造方法の確立などの効果が見られました。これらの進捗は事業内の 3 度のミートアップや事業外のイベントやカンファレンスで発表されました。

また、支援期間中に採択 3 社が総額 21 億円以上のエクイティ・グラント資金を調達しました。



#### (4) 具体的な成果事例

企業名	分野	成果
株式会社Helical Fusion 	環境・エネルギー	文部科学省中小企業イノベーション創出推進事業に採択され、20億円調達。
株式会社Quastella 	バイオテクノロジー	SSS Capital とインキュベイトファンドの2社を引受先として資金調達（金額非公表）。
株式会社さかなドリーム 	フード・アグリ	Beyond Next Ventures より 1.9 億円をシード調達。

#### (5) 2024 年度事業について

破壊的イノベーションを創造、社会課題を海容する可能性の高いディープスタートアップを創出するため、引き続き、アクセラレーションとファンダメンタルサポートを実施します。また、2023 年度採択されたスタートアップ5社についても継続して成長サポートを行います。

#### (参考1) PRE-STATION Ai について



「We Work グローバルゲート名古屋」内に立地



入居者がワークスペースとして活用



WeWork のオープンスペースで、交流イベント等の開催が可能

- **開設時期**：2020年1月16日（2020年1月16日に「STATION Ai 早期支援拠点」として開設した後、STATION Ai の主要機能を概ね備えるために新たな機能を充実して、2021年4月1日に「PRE-STATION Ai」に改称）
- **場 所**：WeWork グローバルゲート名古屋（名古屋市中村区平池4-60-12）
- **メンバー種別**：Standard メンバー、Remote メンバー
- **登録資格**：県内に既に本社機能を設置している者、若しくはメンバー登録から1年以内に県内に本社機能を設置する意志がある者、又は県内において事業展開している者、若しくはメンバー登録から1年以内に県内において事業展開する意志がある者 等
- **登録期間**：原則1年間（更新可）
- **登録料金**：無料



## ○ 提供する支援サービス

		Standard メンバー	Remote メンバー
オフィス利用に付随する支援サービス	オフィスの提供	原則、最大 5 席	—
	「PRE-STATION Ai」の住所における法人登記	○	—
	We Work が提供する各種サービスの利用（一部制限あり）	○	—
ファウンダーズプログラム ※ <sup>1</sup>	メンタリング※ <sup>2</sup>	○	○
	ピッチコンテスト※ <sup>3</sup>	○	○
	交流会・勉強会等のイベントへの参加	○	○
	「ギルド」の仕組みによるメンバー間交流会	○	○

※1 「PRE-STATION Ai」メンバーの事業成長を目的とした基幹支援プログラム。

- ・ メンバーの成長段階に応じた1年間のプログラムを提供。
- ・ 専任のメンターや成功した起業家による事業アイデアやビジネスモデルのブラッシュアップ。
- ・ プログラム参加メンバーにより「ギルド」を構成。「ギルド」内及び「ギルド」間で交流を深め、事業成長に寄与する充実したコミュニティを形成。
- ・ 「ギルド」間交流会、ピッチコンテスト等を開催することで、緩やかなライバル意識のもとで相互に磨き上げ

※2 アドバイザーによる個別相談対応。

※3 スタートアップ等の起業家が、投資家などの審査員に対して自らの事業計画をプレゼンテーションするイベント。

### （参考2）PRE-STATION Ai の統括マネージャーについて

受託会社：STATION Ai 株式会社

実施体制：統括マネージャー9名、コミュニティマネージャー5名を配置。（2024年3月末時点）

### (参考3) Aichi Partner VCについて

この地域のスタートアップの資金調達を支援するため、愛知県が以下の15社を「Aichi Partner VC」として認定し、スタートアップとの面談の機会の提供等を行っています。

	企業名 (所在地)	代表者	投資対象
1	株式会社i S G Sインベスト メントワークス (東京都港区)	ごしまかずひと 五嶋一人	シードから プレ IPO まで
2	株式会社アプリコット ベンチャーズ (東京都渋谷区)	しらかわともき 白川智樹	プレシードから シードまで
3	Wedge株式会社 (東京都中央区)	ながいけんこう 永井研行	プレシードから シリーズ A まで
4	Xtech Ventures株式会社 (東京都中央区)	てしまひろき 手嶋浩己	創業直後から アーリーまで
5	株式会社グロービズ・ キャピタル・パートナーズ (東京都千代田区)	ほりよしと 堀義人	シードから プレ IPO まで
6	株式会社サイバーエージェント・ キャピタル (東京都渋谷区)	こんどうひろふみ 近藤裕文	シードから アーリーまで
7	株式会社サムライインキュ ベート (東京都港区)	さかきばらけんたろう 榊原健太郎	シードから シリーズ A まで
8	株式会社ジェネシア ベンチャーズ (東京都港区)	たじまそういち 田島聡一	シードから アーリーまで
9	ゼロイチキャピタル 合同会社 (東京都港区)	たねいちりょう 種市 亮	創業前から シードまで
10	株式会社ディープロコア (東京都文京区)	に き かつまさ 仁木勝雅	シードから アーリーまで
11	株式会社デライト・ ベンチャーズ (東京都渋谷区)	なんぼともこ 南場智子 わたなべだい 渡辺大	シードから アーリーまで
12	三菱UFJキャピタル株式会社 (東京都中央区)	こじまたくろう 小島拓朗	シードから レイターまで
13	ライフタイムベンチャーズ (神奈川県横浜市)	きむらりょうすけ 木村 亮介	プレシードから シードまで
14	ANRI株式会社 (東京都渋谷区)	さまたあんり 佐俣安理	シード・ アーリー
15	インキュベイトファンド 株式会社 (東京都港区)	あかうらとおる 赤浦 徹 / ほんままさひこ わ だけいすけ むらたゆうすけ 本間真彦/和田圭祐/村田祐介/ ポール・マクナーニ	シード・ アーリー

(1～13は、2021年7月27日認定、認定期間は2024年9月30日まで。14～15は、2022年6月7日認定、認定期間は2024年9月30日まで。)